

穂高大キレット[南岳（3033m）から撤退]と涸沢の紅葉

齊藤整紀

●2021年10月4日～7日

●メンバー：村山隆（CL）、齊藤整紀

●2021年10月4日（月）快晴

●コースタイム

葛西（村山車）5:30⇒沢渡第3P 10:30（シャトルバス）⇒上高地B T 11:30→14:50 横尾山荘（泊）

村山氏の百名山達成後の要望や私の涸沢紅葉希望を入れて、村山氏が企画した。上高地から入って、横尾山荘に宿泊、南岳から大キレットを通り、北穂南陵から涸沢へ下りる計画である。

私の大キレット歴は、1971年6月が最初、目白山岳会に入って2006年9月（南岳撤退）、2007年9月、そして松田氏と西穂からの通しで2010年8月の計4回挑戦で、うち1回撤退である。

平日の道路は空いており、ほぼ予定通り上高地バスターミナルに到着。快晴の10月の上高地はかなり人出が戻っている。河童橋周辺が特に賑わっている。岳沢方面の穂高連峰が、雲一つない青空に聳える。定番の風景がそこにある。河童橋から3時間後、横尾大橋に到着。道中出会った下山客の行列と横尾山荘周辺の大群に圧倒される。涸沢の紅葉目当てであろう。横尾山荘は増築され、清潔、風呂付で今までの山小屋観が変わる。13,000円の価値あり！

●2021年10月5日（火）快晴

●コースタイム

横尾山荘 6:15→キャンプ場 8:30→天狗原分岐 10:40→天狗池 11:30→15:00 南岳・南岳山荘（泊）

今日は長躯、南岳まで上る歩程である。どっと多くが横尾大橋を渡り涸沢を目指す。槍ヶ岳方面はほとんどいない。早朝、日の差さない梓

川左岸の静けさを劈く野猿。そろそろと群れをなし、登山道周辺をうろつき、我々を窺う。それがいくつも続き、目を合わさない様に緊張して歩く。やがて槍見河原からは、はっきりと穂先が望める。昨日同様、本日も快晴である。

槍沢ロッジ辺りから日が差すようになり、体も温まり、リラックスする。キャンプ場、大曲を過ぎると槍沢の勾配はきつくなる。天狗原分岐で槍ヶ岳に向かう多くと別れ、天狗池へ一登り。道中望む槍ヶ岳は角度、大きさ等格別である。天狗池には先客が居並び、「逆さ槍」の撮影を楽しんでいる。好天時にのみ成せる技！我々も、なかなか出会えない風景のワンショットをゲット！

岩場の氷河公園を過ぎ、ハシゴ、クサリもある岩稜を登り、ようやく見覚えのある天狗原入口の標識に至る。15年前下ったはずの、これまでのルートはほとんど覚えていない。

稜線に上がると強風。天候の変化を感じる。南岳は360度青空が果てしなく、各方面の名山の展望劇場。ヤマケイの究極の山絶景30の一つ「南岳から望む大キレットと穂高連峰」を始め、浅間、鹿島槍、劔、白山、富士、アルプス、ハツ等が望まれる。大キレットは恐竜の背骨の様に不気味に横たわる。そして北穂高小屋の絶妙な建ち位置よ！おまけが笠ヶ岳の夕日である。

南岳山荘は、体温計、扉の開閉から水道水禁止、換気までコロナ対策が異様に厳しい。9月にコロナ患者が発生し一時休業していたためとか。

●2021年10月6日（水）強風、霧後曇り

●コースタイム

南岳山荘 7:00→天狗原→槍沢ロッジ→14:00 横尾山荘（泊）

夜中、山荘の窓に吹き付ける風が強まり、果たして明方には濃霧と強風の悪条件となった。天気予報では、回復基調で風は16mから、午前中12mに弱まる、とはいえ、強風は続き、尾根に出ると立ってられない程で、極めて危険である。ここは止めた方がベターである。他のパーティも同様で、キレットへ強行する人は見当たらない。我々は様子見をした関係で、山荘7時発となり、昨日ルートに戻り、即ち15年前の下山路を辿る。出来れば今日中に涸沢まで入りたい。

強風に霧雨の中、黙々と下る。稜線から信州側に下りると風の弱まる箇所もある。鎖場、ハシゴを慎重にこなし、天狗池に到着するころには日差しも出て、暑くなる。結局、横尾午後2時着で上りより2時間弱短縮した。ところが、予約している涸沢ヒュッテに、到着が遅れる旨を電話したところ、「午後2時までに入るよう案内している。キャンセル料一人5,000円払ってください。」と言われたとのこと。やむなく、今日中の涸沢行きは諦め、もう一晚、横尾山荘に泊まり、翌日、涸沢往復で帰宅する案に変更した。横尾山荘は、何とか宿泊出来たが、今日も盛況である。

●2021年10月7日(木) 晴れ時々曇り

●コースタイム

横尾山荘 6:30→涸沢ヒュッテ 9:45~10:30→横尾 13:30→明神館 15:30→(右岸)→上高地BT 16:45(シャトルバス)⇒沢渡(車)⇒湯の華「瑞祥」(入浴・夕食)⇒葛西

気分一新、横尾大橋を渡る。程なく下山者がポツポツ現れ、本谷橋を渡った先の狭い急登では対向者の多さにうんざり！やがて凄い紅葉が広がる。しかしネット情報の通り、9月下旬が盛りで、5日の強風で紅葉が飛んだ様で、ナナカマドの紅葉は、落ちたり変色したりで、実だけの物も多い。それでも涸沢ヒュッテ廻りから下は、見事な紅葉が残る。一方、涸沢ヒュッテ

の上、獅子岩方面は、北穂から涸沢槍、奥穂の山頂部は雲が取れない。これが唯一残念である。谷側の蝶ヶ岳方面は青空が美しく紅葉が映える。ヒュッテのベランダ周辺は写真撮影や飲食の人で賑わっている。ヒュッテから涸沢小屋の間の石畳にはまだテントが残っている。これから、今夜ももっと増えるのだろう。

帰りのバス時間があるため、名残惜しいが10時半に下山開始。今度は登って来る大群に辟易！クラブツーリズムなどのツアー団体が多い。横尾山荘からデポした荷物をもらい、再出発。明神橋からは右岸へ。今や、大正池や田代池を凌ぎ上高地へと目される岳沢湿原を見るためである。果たして午後の光を浴びた湿原はやはり美しい。

上高地バスターミナルで、沢渡行最終バスに飛び乗って、沢渡から車に乗り換える。松本市内で入浴、食事をして東京に向かう。ところで談合坂PA辺りで、関東地方の地震速報を聞く。震源地は震度5強とのことながら、自宅は4で、大したことはないとの電話で安心。しかし、首都高速に入ってびっくり。分岐では双方に赤信号が灯り、出口のある個所では、本流に赤信号が点灯。意味不明ながら、途中で一般道に下りて帰宅。どうも、首都高は各入口は封鎖されているが、出口は目的地まで行かれたようである。

何はともあれ、帰宅は零時を回ったが、無事で様々な思い出ができ、何よりであった。(了)

【おわりに】

70歳で、南岳に上がり、キレットを越せるか、不安もあったがやってみた。3000m峰南岳は横尾山荘前泊の計画に助けられ、楽に登られた。道中、オコシヨや槍の美しい姿、天狗池に映る逆さ槍にも勇気付けられた。以前2回の新穂高温泉、槍平方面からは別の趣があった。キレットは悪天候により、2度目の撤退となったが、悪天下安全第一の観点から妥当な判断であったと思う。事故が起きたら何にもならない。前日に、好天に恵まれ南岳山頂や獅子鼻などが

らキレット周辺の写真が存分に撮れたので悔い
はない。

また、憧れの涸沢の紅葉を満喫できたのはこ
の上ない幸運であった。花と紅葉はタイミング
が難しいと言われるが、まずまずの好機と好天
に恵まれた。計画立案の友人にも感謝したい。
なお、コロナ禍の中、感染対策を施しながら営
業を続ける山小屋やトイレ設備管理者、国立
公園自然保護団体の方々にも感謝したい。(了)